

付録 4

作業ログ

This is a blank page.

作業件名: 東立坑深度140mにおける地下水の地球化学モニタリング装置の設置作業および作動確認試験の実施
Eventlog No.1

孔名	地球化学モニタリングボーリング	掘削開始日	2009/2/20	掘削終了日	2009/2/28
作業内容	掘進・コア採取作業	掘削開始深度	0(m)	掘削終了深度	101(m)

作業期間:	平成21年 2月16日～平成21年 3月24日
作業場所:	東立坑140m水平坑道内小型試錐座(南)

Data	Time	Event	Remark
2009/2/20 (昼勤)	8:30:00	掘削準備(掘削水作成)	掘削水循環タンクに清水500Lため、ウラニン1.5gを投入し3mg/lの濃度とする
	10:37:00	掘削水採水(100ml)	
	10:45:00	掘削開始(底板コンクリート) 掘進:0.00-0.30m、掘進長:0.30m、 深度0.30mで底板コンクリート抜ける	送水掘りで掘削(送水量:20l/min、排水量:20l/min、送水圧:1kg/cm ²)。シングルコアチューブ(φ86mm)、メタルクラウンビットを使用(回転:50回/分、圧力100kg)。
	11:20:00	コア取出し作業	無水掘りで掘削。シングルコアチューブ(φ86mm)、メタルクラウンビットを使用(回転:50回/分、圧力200kg)。
	12:00:00	昼休憩	
	13:00:00	掘削準備	送水掘りで掘削(送水量:20l/min、排水量:20l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(φ86mm)、ダイヤモンドビットを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	13:50:00	掘削開始(岩盤:珪藻泥岩) 掘進:0.30-0.80m、掘進長:0.50m	
	14:20:00	コア取出し作業	掘進中に循環水が約200l増量したため、ウラニン0.6gを投入し、循環水のウラニン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。
	14:30:00	掘削準備	
	14:40:00	掘削開始(岩盤:珪藻泥岩) 掘進:0.80-2.10m、掘進長:1.30m	送水掘りで掘削(送水量:20l/min、排水量:20l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(φ86mm)、ダイヤモンドビットを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	15:00:00	掘削循環水の排水	掘削準備
	15:40:00	コア取出し作業	
	15:50:00	掘削準備	掘削準備
	16:00:00	掘削準備	
	17:10:00	掘削準備	掘削準備
	17:30:00	掘削準備	
	17:40:00	掘削準備	掘削準備
	17:50:00	掘削開始(岩盤:珪藻泥岩) 掘進:2.10-3.00m、掘進長:0.90m	
	18:10:00	コア取出し作業	掘削準備
	18:25:00	掘削水採水(100ml)	
18:30:00	掘削準備	掘削準備	
19:00:00	現場詰所で引継ぎ		
2009/2/20 (夜勤)	19:30:00	掘削準備	掘削準備
	22:00:00	掘削準備	
2009/2/21	22:15:00	掘削準備	掘削準備
	22:30:00	掘削準備	
	0:00:00	掘削準備	掘削準備
	1:00:00	掘削準備	
	3:00:00	掘削準備	掘削準備
	3:30:00	掘削準備	
	4:00:00	掘削準備	掘削準備
	6:00:00	掘削準備	
	7:00:00	掘削準備	掘削準備
		掘削準備	掘削準備

作業件名: 東立坑深度140mにおける地下水の地球化学モニタリング装置の設置作業および作動確認試験の実施
Eventlog No.2

孔名	地球化学モニタリングボーリング	掘削開始日	2009/2/20	掘削終了日	2009/2/28
作業内容	掘進・コア採取作業	掘削開始深度	0(m)	掘削終了深度	101(m)

Data	Time	Event	Remark
2009/2/21 (昼勤)	8:00:00	孔内洗浄	孔内洗浄はPQのケーシング、メタルビットを使用。
	10:00:00	ケーシングパイプ挿入(φ127mm)	孔口セメンチング用ケーシングパイプ
	10:30:00	セメンチング(孔口処理)	
	11:00:00	洗浄水採水(100ml)	
	12:00:00	昼休憩	
	13:00:00	掘削準備(HQ-ワイヤライン)	
	17:00:00	作業終了	
2009/2/23 (昼勤)	8:00:00	掘削準備(HQ-ワイヤライン)	
	10:00:00	孔内洗浄	
	10:10:00	掘削準備(掘削水作成)	掘削水循環タンクに清水500Lため、ウラン1.5g(0.3g×5袋)を投入し3mg/lの濃度とする
	10:40:00	掘削水採水(100ml)	
	10:40:00	掘削開始(岩盤:珪藻泥岩) 掘進:3.00-4.00m、掘進長:1.00m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	11:20:00	コア取出し作業	3.10~3.35m間 コア流出
	11:40:00	掘削準備	
	12:00:00	昼休憩	
	13:10:00	掘進:4.00-5.35m、掘進長:1.35m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	13:50:00	コア取出し作業	
	13:55:00	掘削準備	
	14:00:00	掘進:5.35-6.70m、掘進長:1.35m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	14:30:00	コア取出し作業	
	14:40:00	掘削準備	
	14:50:00	掘進:6.70-8.35m、掘進長:1.65m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	15:40:00	コア取出し作業	
	15:50:00	掘削準備	
	16:00:00	掘進:8.35-9.60m、掘進長:1.25m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	16:40:00	コア取出し作業	
	16:50:00	掘削準備	
17:00:00	掘進:9.60-10.80m、掘進長:1.20m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。	
17:50:00	コア取出し作業	10.45~10.80m間 コア流出	
18:20:00	掘削準備		
18:35:00	掘削水採水(100ml)		
19:00:00	現場詰所で引継ぎ		
2009/2/23 (夜勤)	19:20:00	掘進:10.80-12.15m、掘進長:1.35m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力100kg)。
	19:50:00	掘削循環水の濃度調整	掘進中に循環水が濃くなったため、ウラン濃度(ウラン0.3gを投入)を調整した清水(約100l)を加え循環水を薄めた。
	20:30:00	コア取出し作業	
	20:35:00	掘削準備	
	20:40:00	掘進:12.15-14.10m、掘進長:1.95m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力100kg)。
21:50:00	掘削水採水(100ml)		

作業件名: 東立坑深度140mにおける地下水の地球化学モニタリング装置の設置作業および作動確認試験の実施
Eventlog No.3

孔名	地球化学モニタリングボーリング	掘削開始日	2009/2/20	掘削終了日	2009/2/28
作業内容	掘進・コア採取作業	掘削開始深度	0(m)	掘削終了深度	101(m)

Data	Time	Event	Remark
2009/2/23 2009/2/24	22:00:00	掘削循環水の排水	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約100l)。
	22:30:00	コア取出し作業	
	22:35:00	掘削準備	
	22:40:00	掘進:14.10-14.90m、掘進長:0.80m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力100kg)。
	23:30:00	コア取出し作業	
	23:45:00	掘削準備	
	0:00:00	昼休憩	
	1:20:00	掘進:14.90-16.65m、掘進長:1.75m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力100kg)。
	2:20:00	掘削循環水の排水	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約100l)。
	3:00:00	コア取出し作業	
	3:10:00	掘削準備	
	3:20:00	掘進:16.65-17.20m、掘進長:0.55m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力100kg)。
	4:00:00	コア取出し作業	
	4:10:00	掘削準備	
4:20:00	掘進:17.20-18.90m、掘進長:1.70m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力100kg)。	
6:20:00	コア取出し作業		
6:40:00	掘削準備		
7:00:00	現場詰所で引継ぎ		
2009/2/24 (昼勤)	8:00:00	泥水掘削準備	掘削循環水としてベントナイト泥水を800l作成。ウランを2.4g(0.3g×8袋)投入し3mg/lの濃度とする
	11:00:00	掘削水採水(100ml)	
	12:00:00	昼休憩	
	13:10:00	泥水掘削準備	ベントナイト泥水を循環させるためのポンプ座掘削等準備作業
	15:00:00	泥水掘削開始 掘進:18.90-19.75m、掘進長:0.85m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:0l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	16:00:00	コア取出し作業	
	16:10:00	掘削準備	
	16:20:00	掘進:19.75-21.05m、掘進長:1.30m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:0l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	18:00:00	コア取出し作業	
	18:30:00	掘削水採水(100ml)	
18:35:00	掘削準備		
19:00:00	現場詰所で引継ぎ		
2009/2/24 (夜勤)	19:20:00	掘進:21.05-21.90m、掘進長:0.85m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力100kg)。
	20:40:00	コア取出し作業	
	20:50:00	掘削準備	
	21:00:00	掘進:21.90-24.15m、掘進長:2.25m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力100kg)。
	23:10:00	コア取出し作業	
	23:20:00	掘削準備	
23:30:00	掘進:24.15-24.45m、掘進長:0.3m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力100kg)。	

作業件名: 東立坑深度140mにおける地下水の地球化学モニタリング装置の設置作業および作動確認試験の実施
Eventlog No.4

孔名	地球化学モニタリングボーリング	掘削開始日	2009/2/20	掘削終了日	2009/2/28
作業内容	掘進・コア採取作業	掘削開始深度	0(m)	掘削終了深度	101(m)

Data	Time	Event	Remark
2009/2/24	23:50:00	昼休憩	深度24.45mを掘削中、機械を止め昼休憩
2009/2/25	1:20:00	掘進:24.45-25.70m、掘進長:1.25m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力100kg)。
	2:40:00	コア取出し作業	
	2:45:00	掘削準備	
	2:50:00	掘進:25.70-27.90m、掘進長:2.20m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力100kg)。
	5:00:00	コア取出し作業	
	5:05:00	掘削準備	
	5:10:00	掘進:27.90-28.90m、掘進長:1.00m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力100kg)。
	6:00:00	掘削水採水(100ml)	
	6:00:00	コア取出し作業	
	6:20:00	掘削準備	
	7:00:00	現場詰所で引継ぎ	
2009/2/25 (昼勤)	7:30:00	掘進:28.90-31.30m、掘進長:2.40m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.1l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	9:45:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約100増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。
	10:20:00	コア取出し作業	
	10:30:00	掘削準備	
	10:35:00	掘進:31.30-32.40m、掘進長:1.10m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.1l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	11:40:00	昼休憩	深度32.40mを掘削中、機械を止め昼休憩
	13:30:00	掘進:32.40-32.75m、掘進長:0.35m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.1l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	14:10:00	コア取出し作業	
	14:20:00	掘削準備	
	14:25:00	掘進:32.75-34.95m、掘進長:2.20m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.1l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	15:05:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約100増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。
	16:35:00	コア取出し作業	
	16:40:00	掘削準備	
	16:45:00	掘進:34.95-36.15m、掘進長:1.20m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.1l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	18:15:00	掘削水採水(100ml)	
	18:15:00	湧水量測定(湧水量:110cm ³ /min)	掘削終了後孔内からの湧水確認(掘削深度36.15m時の湧水量)
	18:15:00	コア取出し作業	
	18:30:00	掘削準備	
	19:00:00	現場詰所で引継ぎ	
2009/2/25 (夜勤)	19:15:00	掘削準備	
	19:50:00	掘進:36.15-39.20m、掘進長:3.05m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.1l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力150kg)。
	20:00:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約100増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。

作業件名: 東立坑深度140mにおける地下水の地球化学モニタリング装置の設置作業および作動確認試験の実施
Eventlog No.5

孔名	地球化学モニタリングボーリング	掘削開始日	2009/2/20	掘削終了日	2009/2/28
作業内容	掘進・コア採取作業	掘削開始深度	0(m)	掘削終了深度	101(m)

Data	Time	Event	Remark	
2009/2/25 (夜勤)	21:50:00	コア取出し作業		
	21:55:00	掘削準備		
	22:00:00	掘進:39.20-40.70m、掘進長:1.50m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.2l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力150kg)。	
	23:00:00	コア取出し作業		
	23:05:00	掘削準備		
	23:10:00	掘進:40.70-41.45m、掘進長:0.75m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.5l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力150kg)。	
	23:50:00	昼休憩	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。	
	2009/2/26	1:20:00	掘進:41.45-43.80m、掘進長:2.35m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.5l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力150kg)。
		2:50:00	コア取出し作業	
		3:00:00	掘削準備	
3:10:00		掘進:43.80-45.60m、掘進長:1.80m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.5l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力150kg)。	
3:20:00		掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。	
4:50:00		コア取出し作業		
4:55:00		掘削準備		
5:00:00		掘進:45.60-47.40m、掘進長:1.80m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.5l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力150kg)。	
6:15:00		掘削水採水(100ml)		
6:30:00		コア取出し作業		
6:40:00	掘削準備			
7:00:00	現場詰所で引継ぎ			
2009/2/26 (昼勤)	7:15:00	掘削準備		
	7:40:00	掘進:47.40-50.45m、掘進長:3.05m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.4l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。	
	8:20:00	湧水量測定(湧水量:310cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度48.15m時の湧水量)	
	8:40:00	湧水量測定(湧水量:330cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度48.90m時の湧水量)	
	9:00:00	湧水量測定(湧水量:280cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度49.65m時の湧水量)	
	9:30:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。	
	9:40:00	コア取出し作業		
	9:45:00	孔曲がり測定(測定深度:50.00m)		
	10:30:00	湧水量測定(湧水量:330cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度50.45m時の湧水量)	
	10:35:00	掘削準備		
	10:40:00	掘進:50.45-51.90m、掘進長:1.45m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.4l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。	
	11:10:00	湧水量測定(湧水量:360cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度51.15m時の湧水量)	
	11:50:00	昼休憩	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。	
	13:30:00	湧水量測定(湧水量:280cm ³ /min)	掘削中断100分後:掘削深度51.90m時の湧水量	
	13:30:00	掘進:51.90-53.50m、掘進長:1.55m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.4l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。	
	14:10:00	湧水量測定(湧水量:300cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度52.65m時の湧水量)	
14:30:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。		
14:35:00	湧水量測定(湧水量:310cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度53.40m時の湧水量)		
14:40:00	コア取出し作業			

作業件名: 東立坑深度140mにおける地下水の地球化学モニタリング装置の設置作業および作動確認試験の実施
Eventlog No.6

孔名	地球化学モニタリングボーリング	掘削開始日	2009/2/20	掘削終了日	2009/2/28
作業内容	掘進・コア採取作業	掘削開始深度	0(m)	掘削終了深度	101(m)

Data	Time	Event	Remark
2009/2/26 (昼勤)	14:45:00	掘削準備	
	14:50:00	掘進:53.50-56.40m、掘進長:2.90m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.4l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	15:20:00	湧水量測定(湧水量:320cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度54.15m時の湧水量)
	15:40:00	湧水量測定(湧水量:340cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度54.90m時の湧水量)
	16:10:00	湧水量測定(湧水量:280cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度55.65m時の湧水量)
	16:40:00	コア取出し作業	
	16:45:00	湧水量測定(湧水量:360cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度56.40m時の湧水量)
	16:50:00	掘削準備	
	17:00:00	掘進:56.40-57.90m、掘進長:1.50m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.4l/min、送水圧:2kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力100kg)。
	17:30:00	湧水量測定(湧水量:380cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度57.15m時の湧水量)
	18:10:00	コア取出し作業	
	18:20:00	湧水量測定(湧水量:400cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度57.90m時の湧水量)
	18:25:00	掘削水採水(100ml)	
	18:25:00	掘削準備	
19:00:00	現場詰所で引継ぎ		
2009/2/26 (夜勤)	19:15:00	掘削準備	
	19:30:00	湧水量測定(湧水量:330cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(掘削中断100分後:掘削深度57.90m時の湧水量)
	19:30:00	掘進:57.90-60.90m、掘進長:3.00m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.3l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力150kg)。
	20:30:00	湧水量測定(湧水量:280cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度59.40m時の湧水量)
	21:20:00	コア取出し作業	
	21:30:00	掘削準備	
	21:35:00	湧水量測定(湧水量:280cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度59.40m時の湧水量)
	21:40:00	掘進:60.90-62.90m、掘進長:2.00m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.3l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力150kg)。
	21:50:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。
	22:40:00	コア取り出し作業	
	22:45:00	掘削準備	
	22:50:00	掘進:62.90-65.40m、掘進長:2.00m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.3l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力150kg)。
	23:30:00	湧水量測定(湧水量:340cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度64.40m位時の湧水量)
	23:40:00	昼休憩	深度64.40m位を掘削中、機械を止め昼休憩
2009/2/27	1:10:00	掘削再開	
	1:40:00	コア取り出し作業	
	1:50:00	掘削準備	
	2:00:00	掘進:65.40-66.70m、掘進長:1.30m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.3l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力150kg)。
	2:30:00	湧水量測定(湧水量:340cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度66.00m位時の湧水量)
	2:40:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。
	3:10:00	コア取り出し作業	
	3:20:00	掘削準備	
	3:30:00	掘進:66.70-69.70m、掘進長:3.00m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.3l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力150kg)。
	5:30:00	コア取り出し作業	
5:30:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。	

作業件名: 東立坑深度140mにおける地下水の地球化学モニタリング装置の設置作業および作動確認試験の実施
Eventlog No.7

孔名	地球化学モニタリングボーリング	掘削開始日	2009/2/20	掘削終了日	2009/2/28
作業内容	掘進・コア採取作業	掘削開始深度	0(m)	掘削終了深度	101(m)

Data	Time	Event	Remark
2009/2/27	5:40:00	掘削準備	
	5:50:00	掘進:69.70-70.60m、掘進長:0.90m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.3l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力150kg)。
	6:05:00	掘削水採水(100ml)	
	6:30:00	掘削停止	深度70.60mを掘削中、機械を止める。
	7:00:00	現場詰所で引継ぎ	
2009/2/27 (昼勤)	8:00:00	掘削準備	
	8:30:00	湧水量測定(湧水量:350cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(掘削中断120分後:掘削深度70.60m時の湧水量)
	8:30:00	掘進:70.60-71.45m、掘進長:0.85m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.3l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力200kg)。
	9:00:00	湧水量測定(湧水量:330cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度71.40m時の湧水量)
	9:20:00	コア取り出し作業	
	9:40:00	掘削準備	
	9:50:00	掘進:71.45-73.90m、掘進長:2.45m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.5l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力200kg)。
	10:20:00	湧水量測定(湧水量:450cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度72.10m時の湧水量)
	11:00:00	湧水量測定(湧水量:500cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度72.90m時の湧水量)
	11:30:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約300l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。
	11:40:00	コア取り出し作業	
	11:40:00	湧水量測定(湧水量:500cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度73.90m時の湧水量)
	11:45:00	昼休憩	
	12:45:00	掘削準備	
	13:00:00	湧水量測定(湧水量:500cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(掘削中断120分後:掘削深度73.90m時の湧水量)
	13:00:00	掘進:73.90-74.40m、掘進長:0.50m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.5l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力200kg)。
	13:40:00	コア取り出し作業	
	13:50:00	掘削準備	
	14:00:00	湧水量測定(湧水量:450cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度74.40m時の湧水量)
	14:00:00	掘進:74.40-77.40m、掘進長:3.00m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.5l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力200kg)。
	14:30:00	湧水量測定(湧水量:500cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度75.15m時の湧水量)
	15:10:00	湧水量測定(湧水量:500cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度75.90m時の湧水量)
	15:45:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約300l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。
15:50:00	湧水量測定(湧水量:520cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度76.65m時の湧水量)	
16:20:00	コア取り出し作業		
16:30:00	孔曲がり測定準備	測定深度以浅(深度73m付近)までロッド引上げ	
16:40:00	孔曲がり測定(測定深度:75.00m)		
17:40:00	掘削準備		
17:50:00	湧水量測定(湧水量:500cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度77.40m時の湧水量)	
17:50:00	掘進:77.40-78.15m、掘進長:0.75m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.5l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力200kg)。	
18:20:00	掘削停止	深度78.15mを掘削中、機械を止める。	
18:20:00	湧水量測定(湧水量:600cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度78.15m時の湧水量)	
18:20:00	掘削準備	77.40-78.15m間掘削中湧水量増加する(増加量:100cm ³ /min程度)	
19:00:00	現場詰所で引継ぎ		
2009/2/27 (夜勤)	19:00:00	掘削準備	ワイヤーライン用ワイヤーの交換
	19:50:00	湧水量測定(湧水量:420cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(掘削中断90分後:掘削深度78.15m時の湧水量)

作業件名: 東立坑深度140mにおける地下水の地球化学モニタリング装置の設置作業および作動確認試験の実施
Eventlog No.8

孔名	地球化学モニタリングボーリング	掘削開始日	2009/2/20	掘削終了日	2009/2/28
作業内容	掘進・コア採取作業	掘削開始深度	0(m)	掘削終了深度	101(m)

Data	Time	Event	Remark
2009/2/27 (夜勤)	19:50:00	掘進:78.15-80.10m、掘進長:1.95m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.1l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力200kg)。
	20:40:00	湧水量測定(湧水量:350cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度79.60m時の湧水量)
	21:00:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約200l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。
	21:10:00	コア取り出し作業	
	21:20:00	掘削準備	
	21:30:00	掘進:80.10-82.70m、掘進長:2.60m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.2l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力200kg)。
	21:40:00	湧水量測定(湧水量:不明cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度80.90m時の湧水量)
	22:10:00	湧水量測定(湧水量:500cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度81.10m時の湧水量)
	22:40:00	湧水量測定(湧水量:800cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度81.85m時の湧水量)
	23:20:00	湧水量測定(湧水量:不明cm ³ /min)	81.10-81.85m間掘削中湧水量増加する(増加量:300cm ³ /min)
	23:20:00	コア取り出し作業	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度82.70m時の湧水量)
	23:35:00	掘削準備	
	23:40:00	掘進:82.70-83.00m、掘進長:0.30m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.1l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力200kg)。
	23:50:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。
2009/2/28	0:00:00	掘削停止	深度83.00mを掘削中、機械を止める。
	0:00:00	湧水量測定(湧水量:480cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(昼休憩時:掘削深度83.00m時の湧水量)
	0:00:00	昼休憩	
	1:20:00	掘進:83.00-85.70m、掘進長:2.70m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.1l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力200kg)。
	1:40:00	湧水量測定(湧水量:860cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度83.50m時の湧水量)
	2:10:00	湧水量測定(湧水量:640cm ³ /min)	83.00-83.50m間掘削中湧水量増加する(増加量:360cm ³ /min)
	2:20:00	湧水量測定(湧水量:500cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度84.25m時の湧水量)
	2:30:00	コア取り出し作業	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度85.60m時の湧水量)
	2:45:00	掘削準備	
	2:50:00	掘進:85.70-88.70m、掘進長:3.00m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.5l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力200kg)。
	3:20:00	湧水量測定(湧水量:600cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度86.35m時の湧水量)
	3:40:00	湧水量測定(湧水量:640cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度87.10m時の湧水量)
	4:00:00	湧水量測定(湧水量:900cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度87.85m時の湧水量)
	4:20:00	湧水量測定(湧水量:800cm ³ /min)	87.10-87.85m間掘削中湧水量増加する(増加量:260cm ³ /min)
4:30:00	コア取り出し作業	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度88.60m時の湧水量)	
4:45:00	掘削準備		
4:50:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約200l増量したため、ウラン0.6gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約300l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。	
4:50:00	掘進:88.70-91.70m、掘進長:3.00m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:40.5l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:120回/分、圧力200kg)。	
5:10:00	湧水量測定(湧水量:840cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度89.35m時の湧水量)	
5:40:00	湧水量測定(湧水量:740cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度90.10m時の湧水量)	
6:00:00	湧水量測定(湧水量:840cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度90.85m時の湧水量)	
6:10:00	湧水量測定(湧水量:980cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度91.60m時の湧水量)	
6:20:00	掘削水採水(100ml)	90.85-91.60m間掘削中湧水量増加する(増加量:140cm ³ /min)	
		コア取り出し作業	
6:35:00	掘削準備		
7:00:00	現場詰所で引継ぎ		

作業件名: 東立坑深度140mにおける地下水の地球化学モニタリング装置の設置作業および作動確認試験の実施
Eventlog No.9

孔名	地球化学モニタリングボーリング	掘削開始日	2009/2/20	掘削終了日	2009/2/28
作業内容	掘進・コア採取作業・検層準備作業	掘削開始深度	0(m)	掘削終了深度	101(m)

Data	Time	Event	Remark
2009/2/28 (昼勤)	7:20:00	掘削準備	
	7:30:00	掘進:91.70-94.40m、掘進長:2.70m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:41.0l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力200kg)。
	8:20:00	湧水量測定(湧水量:840cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度92.40m時の湧水量)
	9:00:00	湧水量測定(湧水量:980cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度93.50m時の湧水量)
	9:40:00	湧水量測定(湧水量:1000cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度93.90m時の湧水量)
	10:10:00	湧水量測定(湧水量:1000cm ³ /min) コア取り出し作業	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度94.40m時の湧水量)
	10:25:00	掘削準備	
	10:30:00	掘進:94.40-96.15m、掘進長:1.75m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:41.0l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力200kg)。
	11:20:00	湧水量測定(湧水量:1000cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度95.40m時の湧水量)
	11:35:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約300l増量したため、ウラン0.9gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約200l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。
	11:50:00	掘削停止	深度96.15mを掘削中、機械を止める。
	11:50:00	湧水量測定(湧水量:2100cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度96.15m時の湧水量)95.40-96.15m間掘削中湧水量増加する(増加量:1100cm ³ /min)
	11:50:00	昼休憩	
	13:20:00	湧水量測定(湧水量:660cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(掘削中断90分後:掘削深度96.15m時の湧水量)
	13:20:00	掘進:96.15-96.65m、掘進長:0.50m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:41.0l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力200kg)。
	13:40:00	コア取り出し作業	
	13:55:00	掘削準備	
	14:00:00	湧水量測定(湧水量:1450cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度96.65m時の湧水量)
	14:00:00	掘進:96.65-99.65m、掘進長:3.00m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:41.0l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力200kg)。
	14:50:00	湧水量測定(湧水量:1300cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度97.65m時の湧水量)
	15:15:00	掘削循環水の濃度調整および排水	掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約300l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。
	15:20:00	湧水量測定(湧水量:1400cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度98.40m時の湧水量)
	15:50:00	湧水量測定(湧水量:2200cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度99.15m時の湧水量)98.40-99.15m間掘削中湧水量増加する(増加量:800cm ³ /min)
16:00:00	湧水量測定(湧水量:1200cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度99.65m時の湧水量)	
16:00:00	コア取り出し作業		
16:15:00	掘削準備		
16:20:00	掘進:99.65-100.00m、掘進長:0.35m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:41.0l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力200kg)。	
16:30:00	掘削準備		
16:50:00	掘進:100.00-101.00m、掘進長:1.00m	送水掘りで掘削(送水量:40l/min、排水量:41.0l/min、送水圧:1kg/cm ²)。ダブルコアチューブ(HQ-WL)、ダイヤモンドを使用(回転:200回/分、圧力200kg)。	
17:00:00	湧水量測定(湧水量:650cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(ロッド継ぎ足し時:掘削深度100.65m時の湧水量)	
17:20:00	コア取り出し作業		
17:30:00	孔曲がり測定準備	測定深度以浅(深度98m付近)までロッド引上げ	
17:40:00	孔曲がり測定(測定深度:100.00m)		
18:16:00	掘削水採水(100ml)		
18:40:00	後片付け		
19:00:00	現場詰所で引継ぎ		
2009/2/28 (夜勤)	19:00:00	HQロッド引き上げ準備	
	19:30:00	湧水量測定(湧水量:970cm ³ /min)	孔内からの湧水確認(掘削終了140分後:掘削深度101m時の湧水量)
	19:30:00	HQロッド引き上げ作業	
	21:40:00	孔曲がり測定準備	測定深度以浅(深度23m付近)までロッド引上げ
	21:50:00	孔曲がり測定(測定深度:25.00m)	
22:50:00	HQロッド引き上げ作業		

作業件名: 東立坑深度140mにおける地下水の地球化学モニタリング装置の設置作業および作動確認試験の実施
Eventlog No.10

孔名	地球化学モニタリングボーリング	掘削開始日	2009/2/20	掘削終了日	2009/2/28
作業内容	検層準備作業・拡孔作業	掘削開始深度	0(m)	掘削終了深度	101(m)

Data	Time	Event	Remark
2009/3/1	22:30:00 0:00:00 1:00:00 1:30:00 4:00:00 5:30:00 6:00:00	孔内水採水(100ml) 昼休憩 ボーリングマシンドラムワイヤー交換 湧水量測定(湧水量:810cm ³ /min) 孔口処理・プリベンダー取り付け 後片付け 作業終了	孔内からの湧水確認(作業終了90分後:掘削深度101m時の湧水量)
2009/3/2 (昼勤)	8:00:00 8:30:00 9:00:00 9:00:00 10:00:00 11:30:00 12:00:00 13:00:00 14:25:00 15:00:00 18:00:00	HQロッド挿入準備 湧水圧測定(圧力:1Mp) 湧水量測定(湧水量:2200cm ³ /min) HQロッド挿入作業 掘削循環水の濃度調整 天井アンカーの修理 昼休憩 HQロッド引き上げ作業 ボアホールTV観察準備 ボアホールTV観察 作業中断(引き継ぎ, 休憩等)	ボアホールTV観察を実施する前に孔壁の状態を確認 孔口にプリベンダーを取り付け閉鎖してから28時間30分後の湧水圧 孔口を解放してから約30分後:掘削深度101m時の湧水量 深度19.00m以浅は孔壁等に問題なし 深度19.00~40.00m間は孔壁の状態が悪い(深度33.00~40.00m間は送水および油圧の回転でロッド挿入) 深度40.00m以深は孔壁等に問題なし 泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。 ロッド引き上げ作業中孔壁に引っ掛かり等なし
2009/3/2 (夜勤) 2009/3/3	19:00:00 19:30:00 19:35:00 0:45:00 0:45:00 2:00:00 2:00:00 2:00:00 3:00:00 4:00:00	ボアホールTV観察作業開始 湧水量測定(湧水量:1000cm ³ /min) 孔内水採水(100ml) ボアホールTV観察終了 ボアホール資機材解体・撤去 湧水量測定(湧水量:750cm ³ /min) 孔内水採水(100ml) 孔口処理・プリベンダー取り付け 後片付け 作業終了	孔内からの湧水量を測定 孔内からの湧水量を測定
2009/3/3 (昼勤)	8:00:00 12:00:00 13:00:00 14:00:00 15:00:00 16:00:00	湧水箇所の特特定(湧水検層)準備 昼休憩 湧水検層開始 孔内洗浄 パッカー再挿入開始 作業中止	パッカーの挿入を開始したが深度5.00~6.00mで孔壁が狭まっているためパッカー挿入不能 パッカーの再挿入を開始したが再び深度5.00~6.00mでパッカー挿入不能 今後の対策検討, JAEA殿と協議, φ115mmで拡孔することになった
2009/3/3 (夜勤) 2009/3/4	19:00:00 22:00:00 22:15:00 22:30:00 23:30:00 0:00:00	拡孔(φ115mm)準備 拡孔用泥水準備 湧水量測定(湧水量:1200cm ³ /min) 孔口処理・プリベンダー取り付け 後片付け 作業終了	HQロッドの準備等 掘削循環水としてベントナイト泥水を500l作成。ウランを1.5g(0.3g×5袋)投入し3mg/lの濃度とする 孔内からの湧水量を測定
2009/3/4 (昼勤)	8:00:00 12:00:00 13:00:00 13:30:00 15:30:00 16:00:00 18:00:00 18:00:00 18:00:00 19:00:00	拡孔(φ115mm)準備 昼休憩 拡孔準備 拡孔:0.00~26.15m, 拡孔長:26.15m 湧水量測定(湧水量:2400cm ³ /min) 掘削循環水の濃度調整および排水 拡孔停止 掘削水採水(100ml) 後片付け 現場詰所で引継ぎ	拡孔ビットの準備 孔内からの湧水量を測定 掘進中に循環水が約100l増量したため、ウラン0.3gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量:約300l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。 深度26.15mを拡孔中、機械を止める。

作業件名: 東立坑深度140mにおける地下水の地球化学モニタリング装置の設置作業および作動確認試験の実施
Eventlog No.11

孔名	地球化学モニタリングボーリング	掘削開始日	2009/2/20	掘削終了日	2009/2/28
作業内容	拡孔作業・検層準備作業	掘削開始深度	0(m)	掘削終了深度	101(m)

Data	Time	Event	Remark
2009/3/4 (夜勤)	19:00:00	拡孔準備	孔内からの湧水確認(拡孔中断90分後: 拡孔深度25.10m時の湧水量) 深度49.50mを拡孔中、機械を止める。 掘進中に循環水が約200l増量したため、ウラン0.6gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量: 約300l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。
	19:30:00	湧水量測定(湧水量:1050cm ³ /min)	
	19:30:00	拡孔:26.15-49.50m、拡孔長:24.40m	
	23:40:00	拡孔停止	
2009/3/5	23:40:00	掘削循環水の濃度調整および排水	孔内からの湧水確認(拡孔中断100分後: 拡孔深度49.50m時の湧水量) 深度75.26mを拡孔中、機械を止める。
	0:00:00	昼休憩	
	1:00:00	拡孔準備	
	1:20:00	湧水量測定(湧水量:450cm ³ /min)	
	1:30:00	拡孔:49.50-75.26m、拡孔長:25.76m	
	5:40:00	拡孔停止	
	5:40:00	後片付け	
	6:25:00	掘削水採水(100ml)	
7:00:00	現場詰所で引継ぎ		
2009/3/5 (昼勤)	7:00:00	拡孔準備	掘進中に循環水が約200l増量したため、ウラン0.6gを投入し、循環水のウラン濃度を調整後、循環水を排水(排水量: 約300l)。その後新しく掘削泥水を100l(ウラン0.3gを添加)作成し、循環水に加えた。 孔内からの湧水確認(拡孔中断140分後: 拡孔深度75.26m時の湧水量) 深度85.00mを拡孔中、機械を止める。 孔内からの湧水確認(拡孔中断140分後: 拡孔深度85.00m時の湧水量) 拡孔深度: 101.00m
	7:30:00	掘削循環水の濃度調整および排水	
	8:00:00	湧水量測定(湧水量:1100cm ³ /min)	
	9:00:00	拡孔:75.26-85.00m、拡孔長:9.74m	
	12:00:00	拡孔停止	
	12:00:00	昼休憩	
	13:30:00	拡孔準備	
	13:40:00	湧水量測定(湧水量:1100cm ³ /min)	
	13:50:00	拡孔:85.00-101.00m、拡孔長:15.00m	
	17:20:00	掘削水採水(100ml)	
18:00:00	後片付け		
19:00:00	現場詰所で引継ぎ		
2009/3/5 (夜勤)	19:00:00	HQロッド引き上げ準備	
	19:30:00	HQロッド引き上げ作業	
	23:00:00	孔内水採水(100ml)	
	23:00:00	孔口処理・プリベンダー取り付け	
2009/3/6	23:30:00	後片付け	
	0:00:00	作業終了	
2009/3/6 (昼勤)	8:00:00	ケーシング設置および湧水検層準備	
	12:00:00	昼休憩	
	13:00:00	ケーシング設置(φ114mm: 19.00m)	
	14:30:00	湧水検層準備	
	15:00:00	湧水検層開始	
19:30:00	現場で引き継ぎ		
2009/3/6 (夜勤)	19:30:00	湧水検層	湧水量測定用チューブ目詰まりのため
	23:00:00	ハッカー引き上げ	
	0:00:00	作業中断(昼休憩)	
	1:00:00	ハッカー引き上げ作業再開	
	6:00:00	後片付け	
	7:00:00	現場詰所で引継ぎ	
2009/3/7 (昼勤)	8:00:00	湧水検層準備	
	8:30:00	湧水検層開始	
	12:00:00	作業中断(昼休憩)	
	13:00:00	湧水検層再開	
	19:00:00	湧水検層終了	
	19:00:00	現場詰所で引継ぎ	

作業件名: 東立坑深度140mにおける地下水の地球化学モニタリング装置の設置作業および作動確認試験の実施
 Eventlog No.12

孔名	地球化学モニタリングボーリング	掘削開始日	2009/2/20	掘削終了日	2009/2/28
作業内容	検層準備・モニタリング装置設置準備作業	掘削開始深度	0(m)	掘削終了深度	101(m)

Data	Time	Event	Remark
2009/3/7 (夜勤) 2009/3/8	19:00:00	湧水検層資機材引き上げ準備	
	19:30:00	湧水検層用ハッカー引き上げ	
	21:00:00	ボアホールTV観察準備	
	23:00:00	ボアホールTV観察開始	
	0:00:00	観察中断(昼休憩)	
	1:00:00	ボアホールTV観察	
	3:40:00	ボアホールTV観察終了	
	3:40:00	ボアホール資機材解体・撤去	
	4:30:00	孔口処理・ブリペンダー取り付け	
	5:30:00	後片付け	
6:00:00	作業終了		
2009/3/9 (昼勤)	8:00:00	孔内洗浄準備	掘削循環水としてベントナイト泥水を500l作成。ウランを1.5g(0.3g×5袋)投入し3mg/lの濃度とする
	8:30:00	洗浄用泥水準備	
	8:30:00	HQロッド挿入	
	10:00:00	孔内洗浄	
	10:30:00	HQロッド引き上げ	
	12:00:00	洗浄水採水(100ml)	
	12:00:00	孔内洗浄作業終了	
以 上			